



GreensPro™ 1200 グリーンローラ用

モデル番号44907-シリアル番号 313000001 以上

組み立て要領

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	昇降アームキャッチ・アセンブリ	1	昇降アームキャッチ・アセンブリを取り付けます。
2	昇降アーム・アセンブリ	1	昇降アーム・アセンブリを取り付けます。
3	移動用タイヤ	2	移動用タイヤを取り付けます。
4	後部牽引バー・アセンブリ	1	後部牽引バー・アセンブリを取り付けます。
5	昇降バー	2	昇降バーを取り付けます。
6	ハンドル ハンドルシャフト・カバー ハンドルのキャップ	1 1 1	ハンドルを取り付ける
7	運転席	1	運転席を取り付けます。
8	必要なパーツはありません。	-	パレットから機体を下ろします。

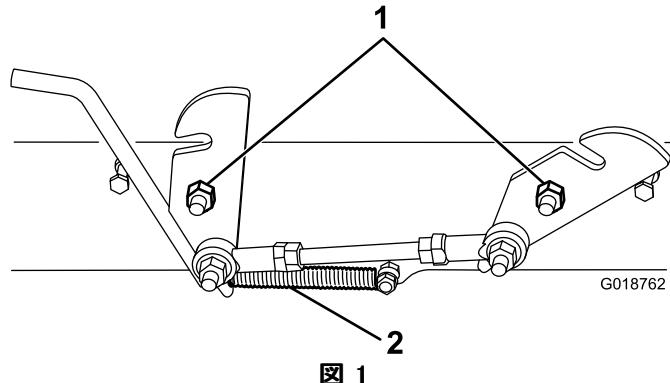
各構成部品の取り付けは、機械をパレットに載せたままで行ってください。

1

昇降アームキャッチ・アセンブリを取り付ける

この作業に必要なパーツ

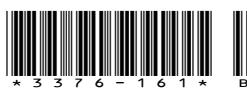
1 昇降アームキャッチ・アセンブリ



1. ボルト
2. スプリング
- ボルトにキャッチをセットする。
 - キャッチが動かなくなるまでナットを締め付け、そこから、キャッチが自由に動くようになくなるまでナットをゆるめ戻す。

手順

- キャッチにフックを取り付ける (図 1)。



2

昇降アーム・アセンブリを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	昇降アーム・アセンブリ
---	-------------

手順

- シートパン・ボルトを外してシートパンを立てる。
- ベースについているクランプの上半分を外し、シートサポートの下にある昇降アームアセンブリを上昇させる。
- 先ほど外したクランプ（上半分）を取り付けて、ボルトで固定する。昇降補助ガスシリンダの取り付けが終わるまで、ボルトの本締めはしないでください図 2）。

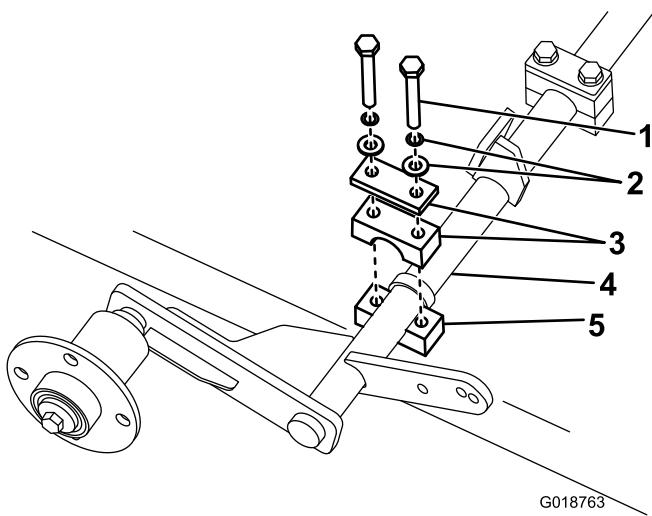


図 2

- ボルト
 - ナットとワッシャ
 - クランプ
 - 昇降アーム・アセンブリ
 - クランプ
- 昇降補助ガスシリンダの、ベースに組みつけられていない方の端部についているナットとワッシャを外す。
 - 昇降アームの一番上にある穴からショルダーエンドを取り付ける。

注 ガスシリンダを取り付けにくい場合には、クランプの中にあって昇降アームを保持して

いるボルトをゆるめると作業がしやすくなります（図 3）。

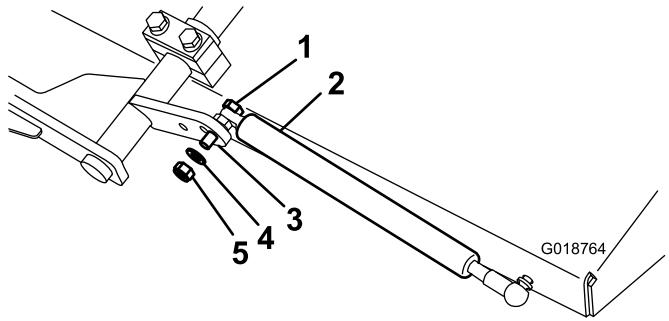


図 3

- ガスシリンダのショルダーエンド
- ワッシャ
- ナット
- 昇降アーム
- ガスシリンダの反対側に、ワッシャとナットを取り付ける。
- ナットを締めつける。ナットを 47-57 N·m (34-42 ft-lb = 4.7-5.8 kg·m) にトルク締めする。
- 昇降アームアセンブリのボルトを、35 ft-lb (47.5 N·m (4.8 kg·m) にトルク締めする。

3

移動走行用車輪を取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	移動用タイヤ
---	--------

手順

- 昇降アームを縦位置にしてホイールハブを上昇させる。
 - ラグナットを使って、移動走行用タイヤを機体に取り付ける。ラグナットは手締めすること。締めつけすぎないこと。
- 注** ラグナットは、マシンを床に下ろした後でトルク締め (108 N·m = 80 ft-lb = 11 kg·m) する。
- タイヤ空気圧を、10 psi (0.65 bar=0.7 kg/cm²) に調整する。

4

後部牽引バー・アセンブリを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	後部牽引バー・アセンブリ
---	--------------

手順

- トランスミッションのカバーを外して、牽引バーのナットに手が届くようにする。
- 機体後部にあるクランプの外側半分を外す。
- 牽引バーを取り付け、クランプを取り付ける。ナットを $47.5 \text{ N}\cdot\text{m}$ ($35 \text{ ft-lb} = 4.8 \text{ kg.m}$) にトルク締めする。

注 締めすぎないように注意すること。このアセンブリは自由に回転できる必要があります。

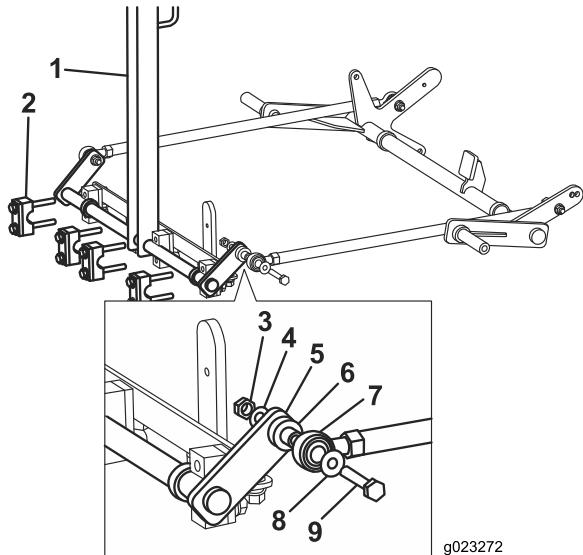


図 4

- | | |
|----------------|---------|
| 1. 牽引バー | 6. ワッシャ |
| 2. クランプ | 7. ナット |
| 3. ナット | 8. ワッシャ |
| 4. ワッシャ | 9. ボルト |
| 5. 昇降アーム・アセンブリ | |

- トランスミッションカバーを取り付ける。

5

昇降バーを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	昇降バー
---	------

手順

- アームとアームを整列させ、注油用のフィッティングが作業可能な位置にくるように調整する。
- ワッシャ、ロッド端部、ブッシュ、バー、およびワッシャ、にボルトを通して、このボルトをナットで固定する(図 4)。この時点ではまだ本締めしないこと。この後に、牽引バーとの高さの調整を行うので、ナットをゆるめておく必要がある。

6

ハンドルを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ハンドル
1	ハンドルシャフト・カバー
1	ハンドルのキャップ

手順

- ステアリングシャフトカバーをシャフトに通す(図 5)。

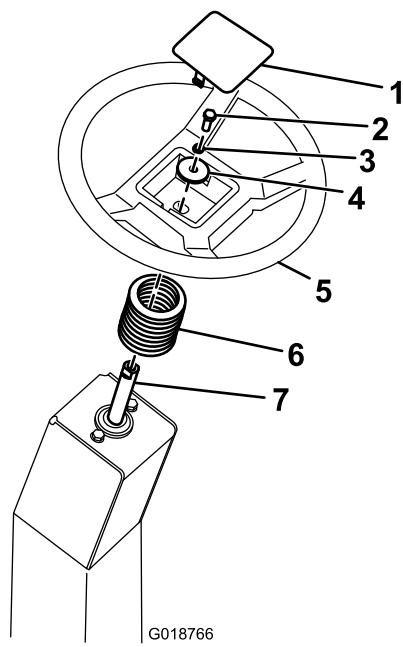


図 5

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. ハンドルのキャップ | 5. ハンドル |
| 2. ボルト | 6. ステアリングシャフト・カバー |
| 3. ロックワッシャ | 7. ハンドルシャフト |
| 4. ワッシャ(大) | |

2. ハンドルシャフトにハンドルを取り付け、大きいワッシャ、ロックワッシャを取り付けてボルトで固定する。ハンドルボルトを 225 in-lb (25.4 N·m=2.6 kg·m) にトルク締めする。
3. ハンドルキャップのツメをハンドルポケットに合わせてはめ込む。

7

運転席を取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	運転席
---	-----

手順

1. 各ボルトからナットとワッシャを外す。
2. 運転席のボルトとシートパンの穴とを整列させる。
3. 運転席をシートパンにセットする。シートパンを注意深く持ち上げる。
4. ロックワッシャを取り付け、4個のナットをシートパンに締め付ける。
5. 運転席を降ろし、運転席を一番前の位置にセットし、シート固定ボルトを取り付ける。

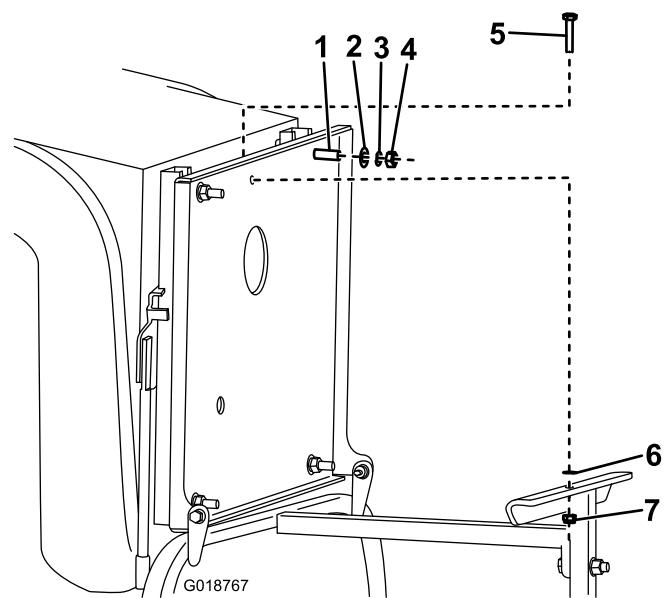


図 6

- | | |
|------------|---------|
| 1. ボルト | 5. ボルト |
| 2. ロックワッシャ | 6. ワッシャ |
| 3. ワッシャ | 7. ナット |
| 4. ナット | |

8

パレットから機体を下ろす

必要なパーツはありません。

手順

1. パレットの両側（タイヤの通り道）に、高さが 100-150 mm の角材を2本置いて道板とする。
2. 升降バーを使って機体をゆっくりと持ち上げる。
3. 機体が完全に持ち上がったら、牽引バーの端にあるパレットのブロックを取り外して牽引バーのスキッド（そり）の下にセットする。パレットは、機体のハンドル側から抜き取ることができる。機体を、木製のサポートから慎重に床面に押し出す。
4. 吊り上げ棒を調節して牽引バーが水平になるようにし、その位置でナット (M16) を締め付けて高さを固定する。
5. ホイールのラグナットを 108 N·m (80 ft-lb = 11 kg·m) にトルク締めする。
6. 升降レバーを所定位置に戻し、リンチピンで固定する。

エンジンの始動および機械の運転方法についてはオペレーターズマニュアルとエンジンマニュアルを参照してください。

エンジンの回転数がおよそ 3200 RPMとなっていることを確認する。

メモ:

メモ:



Count on it.